



製品の微小・微量な異物・有機物・付着物の分析

各種部品、製品、原材料等に混入した微小異物、付着物、微量な有機物を特定いたします。

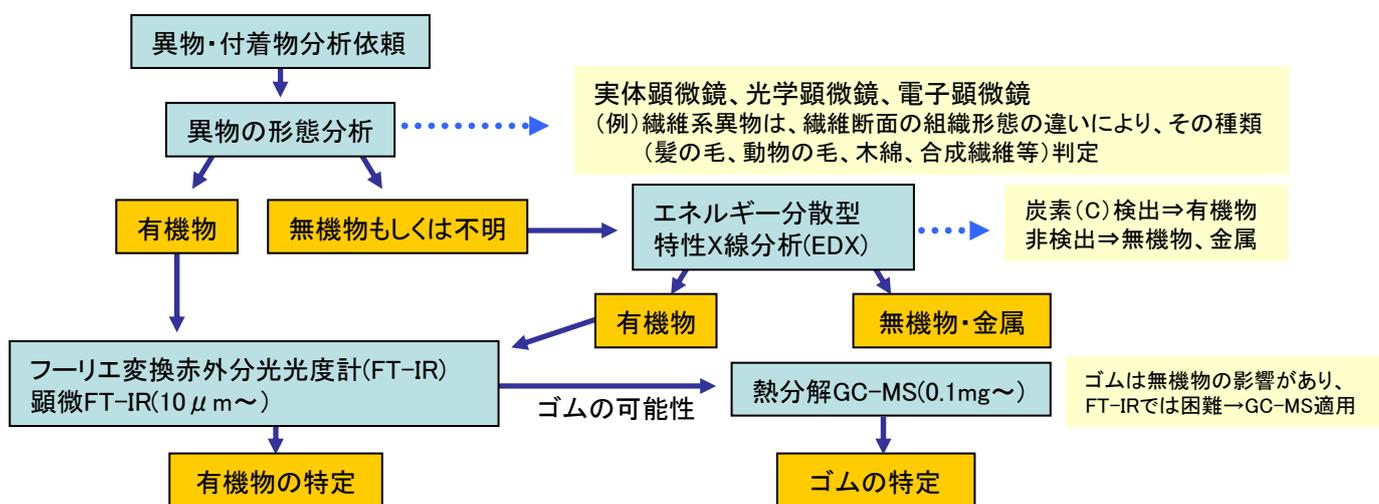
異物・付着物分析について

製品(金属・電子・樹脂・ゴム部品、食品など)に混入した微小(0.01mm以上)、微量(0.1mg以上)異物の混入経路、発生源の特定には、異物の性状(形状、有機物、無機物、分子構造等)を分析して特定することが重要です。

異物は、製品に使用される原材料、その製造工程及び使用環境下からの混入物、樹脂、ゴムの破片物、油類、人由来の汚れ成分、衣服の繊維、埃等、様々なものがあります。

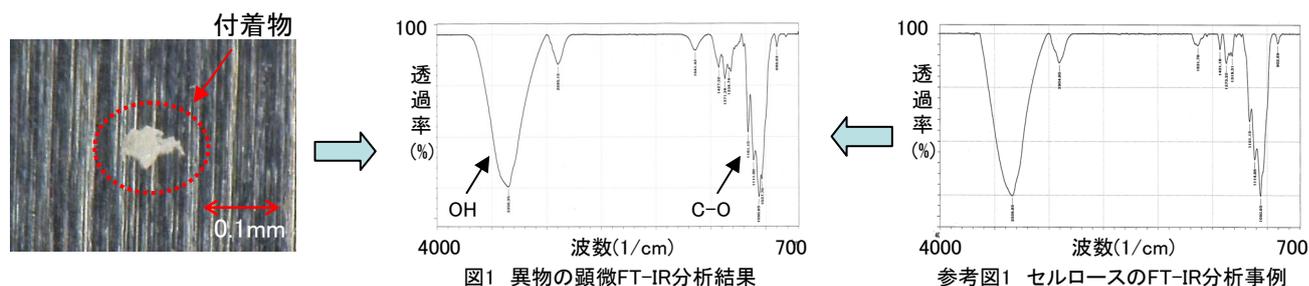
微小で区別しにくい場合が多く、異物、付着物の特定には経験とノウハウが必要です。

異物・付着物分析の流れ

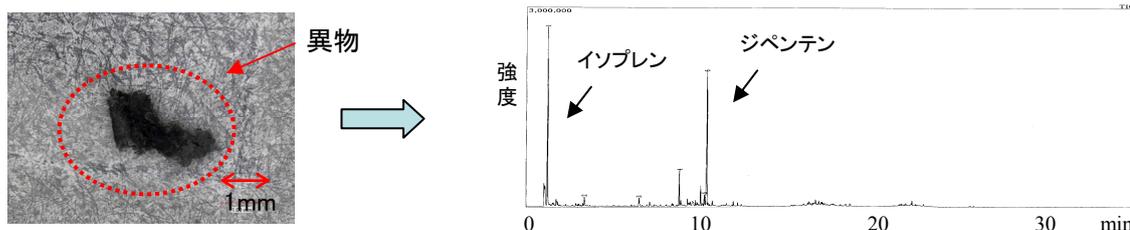


異物・付着物分析事例

【①金属部品上の~0.5mm付着物の顕微FT-IR分析】 → セルロース(綿,紙)と推定されました。



【②設備内に混入した黒色異物(ゴム)の熱分解GC-MS分析】 → 天然ゴム(イソプレンゴム)と推定されました。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2011 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。